

義方小学生との楽しい時間！

10月に入り朝晩の冷気に秋の気配を感じるこの頃ですが、好季節到来を喜ぶのも束の間、例年以上にエネルギーを増した台風が多発し日本各地の被害情報に心を痛めています。被害に遭遇された皆様には心よりお見舞い申し上げ一日も早い復旧をお祈り致します。さて、照陽の家では毎年、恒例の義方小学校との交流会を実施致しました。10月11日(金)5年生の皆さんが来所され利用者様と一緒にレク(ボウリング、輪投げ)を楽しんで頂きました。100歳の方を初め90代の年齢の方に接し「皆さん元気ですね！」と驚く児童や障がいのため思うように動かない身体の方が懸命に輪投げをされる様子を見て声を出して応援し出来た時には拍手する児童の笑顔に私たちも喜びを感じるひと時でした。現在、核家族の子供たちの多くは高齢者との関わりが無い環境での生活と思いますが、こういう体験を通して年老いて認知症が進んだり障がいのため弱い立場になってもその方の尊厳が尊重される事が何より大切な事である、と機会を通して学んでほしいと思います。弱くなっても尊敬を受けてその人らしく生きていける社会、そういう仕組み、社会作りが出来ている豊かな社会を児童の皆さんが担ってくれる事を願いつつ……(施設長 三代富士子)



輪投げ大会



ディスカッション



合唱



ひなたぼっこ保育園の日常



今年もたくさんの芋が収穫できました。



照陽の家の日常

ボランティアの方のギター演奏

朝のご挨拶



輪回し



元気な子どもたち



商店街で買い物



子どもからプレゼント



敬老会



春爛会の皆様

照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



訪問看護ステーション ハートケア

誤嚥性肺炎の予防には次の事を心掛けましょう。

- 1、口腔の清潔を保つ
口腔は肺や胃腸の入り口です。適度な湿度と温度が保たれている口腔は細菌に居心地がよく、歯磨きや嗽を怠ると直ぐに細菌が繁殖します。そのため歯磨きをしっかり行い、口のなかの細菌を繁殖させないこと、そして肺へ運び入れないことが重要です。
- 2、胃液の逆流を防ぐ
ゲップや胸焼けなどがある場合は、胃液の逆流が起こりえます。その場合、食後2時間ほど座って身体を起こしていることで、逆流を予防できます。
- 3、嚥下反射を改善する
嚥下とは物を飲み下すことをいいます。これがうまくいかない状態を嚥下障害といい、誤嚥性肺炎を引き起こす原因のひとつです。
- 4、薬を用いる
誤嚥性肺炎の再発予防には脳梗塞予防薬が有効とされ、用いられることもあります。

今月の言葉

人間は楽な人生よりも 苦難から多くを
学ぶようにできている。

～ホセ・ムヒカ～